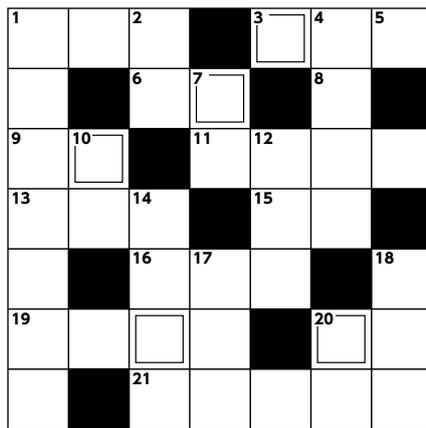


★ クロスワードパズル ★

ヨコのカギ

- ① 憧れ。○○○の花。
- ③ 天気○○○では明日は雨だ。
- ⑥ ○○番。○○差点。
- ⑨ ○○回生。
- ⑪ 空調機。
- ⑬ 跳躍が自慢の緑色の昆虫。
- ⑮ 1桁同士の掛け算。
- ⑯ うそから出た○○○。
- ⑰ その人の生まれた年。○○○○月日。
- ⑲ 電車を止めて人が乗り降りする場所。
- ⑳ 画廊。市民○○○○○(24ページ)。



⑩の5文字を並べ替えて言葉を作ってください。今月号の中に出てくる言葉が答えです。

タテのカギ

- ① 偉大な人物も大成するのが遅いこと。
- ② 忙しい時に手を借りたい動物。
- ④ 市長が所得等○○○
- ⑦ ○○○↓。
- ⑩ 肉類や卵などに多い、たんぱく○○○。
- ⑫ 劇的一幕。オープニング○○○。
- ⑭ 生で切ると涙が出る丸い野菜。
- ⑰ 今日の夜。
- ⑱ 細長い板を両足につけて滑るスポーツ。
- ⑳ 服の首部分。○○を正す。

パズルの応募方法

- 市在住・在勤・在学の正解者から抽選で10人に図書カード(500円分)を差し上げます。
- はがきに、パズルの解答、住所、名前、電話番号、今月号で印象に残った記事を3つ、好きな豊中の風景、広報誌のご感想があれば記入し、広報戦略課へ。
- 市ホームページからも応募可。

締め切り/7月15日(水)。消印有効

応募の宛先 〒561-8501 豊中市役所 広報戦略課

前回の答



前回の正解は、「ガンバオオサカ」。応募総数497通で476通が正解。正解者の中から抽選で10人に景品を送りました。



【今月の表紙】

新千里消防署のジャンボ七夕飾り (新千里西町)

新千里消防署は平成31年(2019)4月に市内3つ目の消防署として設置され、市の北東地域を管轄しています。

毎年、7月初めから飾り出される七夕飾りは約4メートルもの高さがあり、初夏の風に揺られる色鮮やかな短冊や手作りの飾りが、道行く人を楽しませます。



編集室から

◎特集2は見守りカメラを紹介。自転車で通勤する際にふと見上げると電柱に同カメラが。この4月に岐阜から豊中に来た私は土地勘が無く、道に迷うことも多々あり、その様子も撮影されているのかなと思いました。早く道と地名を覚えて豊中になじみたいです。ふるさとの地名が懐かしいです。(早)

◎特集1は先月に引き続き新型コロナウイルス感染症関連情報を掲載しました。アフターコロナ・ウィズコロナなどと言われているように全て今まで通りとはいきませんが、小・中学校が再開したり、センバツの代替大会が決まったりと明るい話題も。こんな話題が続くよう、今一度気を引き締めて日常生活を送りたいと思います。(酒)

人口と世帯数 (6月1日現在・推計)

- 男 ▶189,602人(-25人)
- 女 ▶211,747人(-38人)
- 計 ▶401,349人(-63人)
- 世帯▶178,627 (+42)

()は前月の増減

パソコンやスマホ、タブレットでも! 広報とよなか デジタルブック



デジタルブックアプリ
Catalog Pocket

- スマホ、タブレットでも読める
- 文字サイズを調整できる
- 音声読み上げもできる
- 多言語で読める【日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語】

下の2次元コードから「広報とよなか」がご覧いただけます



安全安心なまちづくりのために

見守りカメラの役割

PTAの皆さんによる通学路の見守りや地域における防犯啓発など、安全安心なまちづくりのため、さまざまな取り組みが行われています。その中で、今回は平成29年(2017)3月から設置している防犯カメラ(見守りカメラ)を紹介します。(危機管理課)



Q 見守りカメラとはなんですか？

A 犯罪の早期解決や未然防止、小学生などの見守りのために、通学路を中心に1,230台(令和元年度末時点)設置している防犯カメラです。



Q 自宅近くのカメラに、生活を撮影されたりしていませんか？

A 皆さんのプライバシーに十分配慮して、撮影範囲を最小限としています。撮影範囲は主に道路や公園などの公共の場としていますが、画像に住宅などが入る場合は、その部分にマスキング加工(黒塗り)して、映らないようにしています。撮影した画像は7日間程度保存した後、自動的に上書き消去されます。

Q 撮影されたものは誰でも見ることが出来ますか？

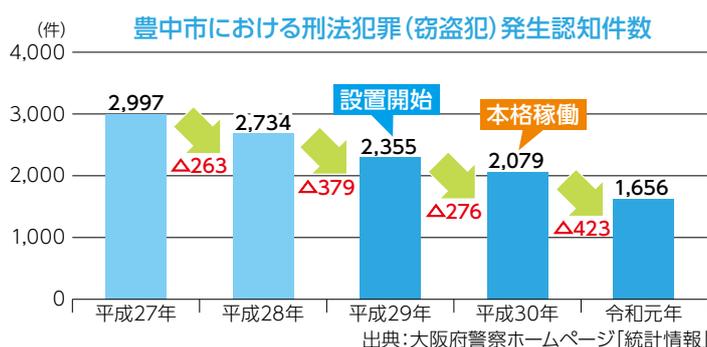
A 撮影された画像データは、警察など捜査機関からの照会などがあつた場合にのみ提供しています。十分なセキュリティを確保し、情報が漏えいなどしない管理体制を整えています。



■犯罪(窃盗犯)認知件数の状況

窃盗犯の認知件数は、平成27年から年間300件程度のペースで減少傾向にあります。平成30年11月に見守りカメラ1,230台が本格的に稼働を始めた後は、本格稼働前よりも減少幅は大きくなっています。

また、令和元年(2019)は、市内の見守りカメラの記録画像が、窃盗犯も含めて96件の犯罪の解決につながりました。



豊中警察署生活安全課防犯係(藤井警部補)のコメント

見守りカメラは、犯罪の未然防止だけでなく、撮影した記録は発生した犯罪の動かぬ証拠として非常に重要な役割を果たしています。実際に、カメラの画像により早期の犯人逮捕につながった事例も多数あります。

見守りカメラや警察だけで全ての犯罪を未然に防ぐことはできません。より安全なまちにしていくためには、市民や

事業者の皆さん、自治体、警察が一体となり取り組む必要があります。そのために、次世代を担う若い人にも、積極的に防犯活動に参加していただきたいと思います。「自分の身は自分で守る」、「自分たちの街は自分たちで守る」という皆さん一人ひとりの意識が、「安全で安心して暮らせるまち・豊中」を実現します。